

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	バリアフリーのまちづくり推進	
所管課	保健福祉局総務部政策推進課	背景
開始年度	平成10年度	
根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律	
行政計画	福岡市バリアフリー基本計画	
		事業を始めた理由(きっかけ)は何か
平成10年に「福祉のまちづくり条例」を施行し、高齢者や障がいのある人をはじめ、すべての人が安全かつ快適に利用できるよう、建築物や旅客施設などの整備基準を定めて都市施設のバリアフリー化を推進してきた。		

基本計画			
施策コード	主	1-1-1	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり		
事業群	ユニバーサル都市・福岡の推進		
施策成果指標	ユニバーサルデザインの取組みへの評価(H28:45%) (ユニバーサルデザインの取組みが進んでいると思う市民の割合)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市民。特に、高齢者や障がい者等、身体の機能上の制約を受ける方。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	「どこでも、誰でも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方にに基づき、建築物や旅客施設、道路、公園などの都市施設が、誰もが安全で快適に利用できるようになっている。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	①福祉のまちづくり条例及び福岡市バリアフリー基本計画に基づき、道路や旅客施設等のバリアフリー化の推進。【継続事業】
	②平成28年3月に配布した市民向け広報誌「心のバリアフリー」の保存版を作成し、出前講座等の際に配布・啓発を行った。
	③福岡市バリアフリー基本計画の実行計画である後期ロードマップ(H29～H32年度)を作成した。
	④平成29年度よりバリアフリーのまちづくりサポーター制度を試行するにあたり、障がい者団体との協定を締結した。
	⑤職員向けのバリアフリー研修を実施した。

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計		4,146
歳入	特定財源	85
	一般財源	4,061
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
歳出合計		6,286 3,406
歳入	特定財源	121 115
	一般財源	6,165 3,291

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市バリアフリー基本計画による事業の推進及び検証。 ・バリアフリー啓発のため、ホームページでの広報や市民向け啓発パンフレットの配布、出前講座の実施などに取り組む。 ・バリアフリーのまちづくりサポーター制度試行。 ・職員向けのバリアフリー研修の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安全で利用しやすい施設づくりが進む。 ・バリアフリー研修の受講者数が増す。 ・市民の福祉マインドが醸成される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適に移動や施設の利用ができる。 ・バリアフリー化の促進に関する市民の理解が増す。 ・バリアフリーへの理解が深まり、支え合う心が生まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての市民が日常生活における自立や社会参加できるようになってくる。 	
	活動の指標	成果の指標(KPI)			
	指標の内容	指標の内容			
	バリアフリー研修の受講者率(%) (技術・体験)	ユニバーサルデザインの取組みが進んでいると思う市民の割合			
年度	年度				
H27年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	
目標	目標	42	45	H年度	
実績	実績	21	24	48	
達成率	達成率	100.0%	92.3%	65	
H28年度	H29年度				
目標	目標				
実績	実績				
達成率	達成率				

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	特定健診事業, 特定保健指導事業	
所管課	保健福祉局健康医療部健康増進課	背景
開始年度	平成20年度	
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律	
行政計画		
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		国の医療制度改革に伴い、平成20年度より医療保険者に実施が義務付けられたもの

基本計画			第2期特定健診・特定保健指導実施計画(H26～29) ・特定健診実施率 H29目標 40% ・特定保健指導実施率 H29目標 40%
施策コード	主	1-3-1	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	こころとからだの健康づくり		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	40～74歳の福岡市国民健康保険被保険者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	メタボリックシンドロームに着目した特定健診の受診により、メタボ該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする人を的確に抽出し、対象者に、特定保健指導を実施し、生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症・重症化を予防する。

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の実施 (集団健診: 健診実施機関に委託, 個別健診: 福岡市医師会に委託) ・特定保健指導の実施(直営, 委託) ・特定健診受診率向上に向けた取り組み < 個別勧奨の実施(過去の受診状況に応じてパターン分けしたDMの送付, 架電), 市政だより・市ホームページ・フェイスブック等による広報啓発, 受診促進のインセンティブとしてソフトバンクとの包括連携協定を活用した受診キャンペーン, 医師会との受診率向上に向けた意見交換, 庁内関係課との連携強化, 健診受診推進週間を活用した受診啓発, 地域や各種団体と連携した広報啓発等 >

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計	595,571	
歳入	特定財源	250,789
	一般財源	344,782
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
歳出合計	577,464	689,768
歳入	特定財源	259,611 269,919
	一般財源	317,853 419,849

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・特定健診の受診率向上の取組みを実施 ・特定健診を実施	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) ・特定健診受診者の増加	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) ・生活習慣病予備群の減少 ・生活習慣病の重症化予防	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) ・市民一人ひとりの生活の質の向上 ・健康寿命の延伸 ・医療費の伸びの抑制																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">特定健診受診率</td> <td>目標</td> <td>34.0</td> <td>37.0</td> <td rowspan="3">40.0</td> <td rowspan="3">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>21.6</td> <td>22.0(速報値)</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>63.5%</td> <td>59.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		指標の内容	実績		目標		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	特定健診受診率	目標	34.0	37.0	40.0	H 年度	実績	21.6	22.0(速報値)	達成率	63.5%	59.5%		目標				H 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">特定保健指導実施率</td> <td>目標</td> <td>38.0</td> <td>39.0</td> <td rowspan="3">40.0</td> <td rowspan="3">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>33.8</td> <td>集計中</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>88.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			指標の内容	実績		目標		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	特定保健指導実施率	目標	38.0	39.0	40.0	H 年度	実績	33.8	集計中	達成率	88.9%			目標				H 年度		実績						達成率				
	指標の内容	実績		目標																																																																																	
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																															
	特定健診受診率	目標	34.0	37.0	40.0	H 年度																																																																															
実績		21.6	22.0(速報値)																																																																																		
達成率		63.5%	59.5%																																																																																		
	目標				H 年度																																																																																
	実績																																																																																				
	達成率																																																																																				
指標の内容	実績		目標																																																																																		
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																
特定保健指導実施率	目標	38.0	39.0	40.0	H 年度																																																																																
	実績	33.8	集計中																																																																																		
	達成率	88.9%																																																																																			
	目標				H 年度																																																																																
	実績																																																																																				
	達成率																																																																																				
活動の指標			成果の指標(KPI)																																																																																		

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	50歳、60歳代から始める認知症・ロコモ予防	
所管課	保健福祉局 健康医療部健康増進課	背景
開始年度	平成28年度	
根拠法令	健康増進法	
行政計画	健康日本21福岡市計画	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か 今後、超高齢社会を迎えるにあたり、要介護の要因として大幅な増加が見込まれる認知症やロコモティブシンドロームを早い段階から予防していくことが重要となっている。		

基本計画			
施策コード	主	1-3-1	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	こころとからだの健康づくり		
施策成果指標	健康に生活している高齢者の割合(60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 50歳、60歳代の市民
	対象をどのような状態にしたいのか 高齢期前から、健康に関心を持ち、自主的に健康づくりに取り組む状態。
事業目的	

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか (1) 所内および健康づくりセンターでの特定健診結果説明での保健指導や区や校区における健康教育、健康相談において、行動変容促進のツールとして「健康みらい予報」を活用して、生活習慣病の改善から始める認知症予防の取り組みを実施した。 (2) 市政だよりやイベントによるロコモの啓発、またロコモ予防の運度に関する動画を作成した。(今後健康づくり・スポーツサイト等で広報予定) (3) 区や校区での「認知症」「ロコモ予防」の取組みを強化した。 (4) 健康マイレージ事業において、「ロコモ予防」をテーマにした健康セミナーを開催した。
----------	---

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		5,356	
歳入	特定財源	2,828	
	一般財源	2,528	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計		-	3,544
歳入	特定財源	-	1,772
	一般財源	-	1,772

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	○保健指導、健康教育・健康相談の場で、「健康みらい予報」等を活用する。 ○啓発媒体を充実させる。 ○区や校区での取組体制の強化を図る	・健康みらい予報を利用した市民が、自分の健診結果や生活習慣病発症のリスクについて理解しやすく、行動変容につながる。 ・認知症・ロコモ予防関連事業が開催され多くの市民が参加する。	・市民が自分に合った健康づくりに取り組む ・市民一人ひとりの健康診断の結果が良くなる、生活習慣病の改善など、数値として成果が表れる	・自主的に健康づくりに取り組んでいる市民が増える ・医療費の伸びがゆるやかになる ・健康寿命が延びる		
	指標の内容	実績		目標		
	活動の指標	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	-	5,000		H32年度
実績		-	2,013	10,000	21,000	
達成率		-	40.3%			
	目標				H年度	
	実績					
	達成率					

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
	健康づくりに取り組んでいる人の割合	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	60%	60%		H32年度
		実績	54%	54%	63%	75%
		達成率	90%	91%		
健康であると感じている人の割合	目標	78%	78%		H32年度	
	実績	75.7%	78%	78.5%	80%	
	達成率	97.1%	99%			

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	健康づくりチャレンジ事業	
所管課	保健福祉局 健康医療部健康増進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 健康づくりは、市民一人ひとりの取組みが重要であるが、「福岡市民は健康づくりへの意欲は高いが、実際の行動に結びついていない」という調査結果から、市民の関心や意欲を的確にとらえ、健康づくりの実践に結び付けていくことが必要となった。
開始年度	平成23年度	
根拠法令	健康増進法	
行政計画	健康日本21福岡市計画	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	1-3-1	健康に生活している高齢者の割合(60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合)	健康成果指標
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり			
事業群	こころとからだの健康づくり			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	18歳以上の市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	市民一人ひとりが自主的に健康づくりに取り組み、住み慣れた家庭や地域で安心して暮らしていく。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	●ふくおか健康マイレージ 市民の自主的な健康づくり活動を支援する事業の試行(3年目)。29年度10月末まで継続実施。インセンティブとして、会員限定の健康セミナー(テーマは「ロコモ予防」)を開催。
	●健康づくりフェスタふくおか 体験を通して自分にあった健康づくりを見つける場として、舞鶴公園一帯を会場としたイベントを開催(11/19,20)。参加者は2日間で15千人。
	●健康づくり月間ほか 健康づくりの機運を高めるために、10月を健康づくり月間と題して集中的に広報を実施。その他、健康づくり・スポーツサイトの運営により、健康づくりの広報・啓発に取り組んだ。

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	24,817		
歳入	特定財源	15,698	
	一般財源	9,119	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	23,928		20,980
	歳入	特定財源	15,741
		一般財源	8,187

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・市民が健康づくりに興味をもつ仕組み・場を検討(健康マイレージ、健康づくりフェスタふくおか) ・市や関係団体等主催の健康づくり事業の情報を収集、一元化して広報する。(ホームページ:通年、世界禁煙デー(5月)、食育月間(6月)、健康づくり月間(10月)、生活習慣病予防月間(2月))	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・市民が健康づくりに興味をもつ。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・市民が自分に合った健康づくりに取り組む。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・健康づくりに取り組む市民が増え、医療費や介護費用の抑制になる ・健康寿命の延伸																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">健康づくりポイント事業への参加者数</td> <td>目標</td> <td>2,000</td> <td>3,000</td> <td rowspan="3">3,000</td> <td rowspan="3">H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,738</td> <td>1,986</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>86.9%</td> <td>66.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">健康づくりスポーツサイトアクセス数</td> <td>目標</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td rowspan="3">100,000</td> <td rowspan="3">H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>23,900</td> <td>32,227</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>23.9%</td> <td>32.2%</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	健康づくりポイント事業への参加者数	目標	2,000	3,000	3,000	H32年度	実績	1,738	1,986	達成率	86.9%	66.2%	健康づくりスポーツサイトアクセス数	目標	100,000	100,000	100,000	H32年度	実績	23,900	32,227	達成率	23.9%	32.2%	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">健康づくりに取り組んでいる人の割合</td> <td>目標</td> <td>60%</td> <td>60%</td> <td rowspan="3">63%</td> <td rowspan="3">H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>54%</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>90%</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">健康であると感じている人の割合</td> <td>目標</td> <td>78%</td> <td>78%</td> <td rowspan="3">78.5%</td> <td rowspan="3">H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>75.7%</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>97.1%</td> <td>99%</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	健康づくりに取り組んでいる人の割合	目標	60%	60%	63%	H32年度	実績	54%	54%	達成率	90%	91%	健康であると感じている人の割合	目標	78%	78%	78.5%	H32年度	実績	75.7%	78%	達成率	97.1%	99%
	指標の内容			年度	実績		目標																																																															
		H27年度	H28年度		H29年度	最終年度																																																																
健康づくりポイント事業への参加者数	目標	2,000	3,000	3,000	H32年度																																																																	
	実績	1,738	1,986																																																																			
	達成率	86.9%	66.2%																																																																			
健康づくりスポーツサイトアクセス数	目標	100,000	100,000	100,000	H32年度																																																																	
	実績	23,900	32,227																																																																			
	達成率	23.9%	32.2%																																																																			
指標の内容	年度	実績		目標																																																																		
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																	
健康づくりに取り組んでいる人の割合	目標	60%	60%	63%	H32年度																																																																	
	実績	54%	54%																																																																			
	達成率	90%	91%																																																																			
健康であると感じている人の割合	目標	78%	78%	78.5%	H32年度																																																																	
	実績	75.7%	78%																																																																			
	達成率	97.1%	99%																																																																			

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	超高齢社会対応検討経費(一部・アラカンフェスタ)	
所管課	保健福祉局 高齢社会部 高齢社会政策課	背景
開始年度	平成25年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
		事業を始めた理由(きっかけ)は何か 超高齢社会の到来に向けてアクティブエイジング(生涯現役社会づくり)を進める必要があったもの。

基本計画			
施策コード	主	1-3-3	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	アクティブエイジングの推進		
施策成果指標	健康に生活している高齢者の割合(平成25年:46.5%, 平成34年:50%)		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 60歳前後を中心とした幅広い世代の市民
	対象をどのような状態にしたいのか 趣味や余暇活動などによって、高齢者が健康で心豊かな生活を送るとともに、知識や経験を活かして、社会や地域の担い手・支え手として意欲的に活躍するようになる。
事業目的	

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○昨年度に引き続き、退職等で生活スタイルの大きな転換が見込まれる60歳前後のアラカン世代を中心とした幅広い世代に、これからの過ごし方について考え、趣味や地域・ボランティア活動、起業や就労などを行うきっかけにもらう情報見本市「アラカンフェスタ」を開催した。 ○常設のホームページにより、イベントの情報発信を行った。 ○60歳前後を中心としたシニアが、自らイベントを企画して地域資源を活かした体験型の教室やビジネス開発などを行う「R60倶楽部」を新たに実施した。

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	13,500		
歳入	特定財源	6,750	
	一般財源	6,750	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	13,500	11,000	
歳入	特定財源	0	5,500
	一般財源	13,500	5,500

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ○アラカンフェスタの開催 ○常設ホームページによるアラカン情報の配信	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) ○60歳前後を中心とする多くの市民がアラカンフェスタに参加する。 ○60歳前後を中心とする多くの市民が常設ホームページから情報を得るようになる。	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) ○アクティブエイジング(生涯現役社会づくり)の重要性を認識する人が増え、趣味や地域・ボランティア活動などの行動を実際に起こすアクティブシニアが増加する。	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) ○社会や地域の担い手・支え手として活躍する高齢者が増える。 ○健康に生活している高齢者(の割合)が増える。			
	活動の指標	指標の内容	実績	目標			
			年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		「アラカンフェスタ」への来場者数	目標	7,000	5,000	5,000	H年度
			実績	8,220	4,614		
		達成率	117.4%	92.3%			
		目標				H年度	
		実績					
		達成率					
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標				
	60歳以上市民の地域活動参加率(%)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	
		目標	53.0	53.0	53.0	H年度	
		実績	33.8	41.3			
		達成率	63.8%	77.9%			
		目標				H年度	
		実績					
		達成率					

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	健康・社会参加インセンティブ制度調査・検討	
所管課	保健福祉局高齢社会部高齢社会政策課	背景
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
		事業を始めた理由(きっかけ)は何か 超高齢社会の到来による既存施策(高齢者乗車券)の再構築

基本計画			
施策コード	主	1-3-3	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	アクティブエイジングの推進		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 高齢者乗車券支給対象を中心とした高齢者
	対象をどのような状態にしたいのか 高齢者が健康づくりや地域活動に取り組むことができる仕組みづくり

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 健康づくりや地域活動への参加促進に向け、高齢者一人ひとりの取組や地域における取り組みを応援するインセンティブ制度創設の課題などを検討するために、他都市調査を実施
----------	--

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	5,292		
歳入	特定財源	2,506	
	一般財源	2,786	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳入	歳出合計	0	10,000
	特定財源		5,000
	一般財源	0	5,000

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) 高齢者が健康づくりや地域活動に取り組むことで、「支える福祉」への仕組みづくりの検討	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) 高齢者が健康づくりや地域活動に取り組むことができる環境の創出	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) 健康づくりや地域活動に取り組むことができる高齢者の増加	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) 医療費・介護費の削減、地域で支え合う仕組みの構築																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">活動の指標</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	活動の指標	目標				H 年度	実績					達成率						目標				H 年度		実績						達成率					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">成果の指標(KPI)</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>0</td> <td rowspan="2">0</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	成果の指標(KPI)	目標	0	0	0	H32年度	実績	0	0	100,000	達成率					目標				H 年度		実績						達成率				
	指標の内容	年度			実績		目標																																																																																			
			H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																				
	活動の指標	目標				H 年度																																																																																				
実績																																																																																										
達成率																																																																																										
	目標				H 年度																																																																																					
	実績																																																																																									
	達成率																																																																																									
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																						
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																					
成果の指標(KPI)	目標	0	0	0	H32年度																																																																																					
	実績	0	0		100,000																																																																																					
	達成率																																																																																									
	目標				H 年度																																																																																					
	実績																																																																																									
	達成率																																																																																									

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	地域包括ケア情報プラットフォーム構築事業		
所管課	保健福祉局 高齢社会部 高齢社会政策課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成26年度		行政が保有している様々な情報を有効に活用するため、保健、福祉、医療に関する情報を一元的に集約、管理するとともに分析、評価を行い、エビデンスに基づいた実効性のある施策を立案する必要があるため。
根拠法令	医療介護総合確保促進法		
行政計画	戦略的都市経営推進経費		

基本計画			
施策コード	主	1-6-1	
	再	-	-
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実		
事業群	地域における総合的な福祉サービスの構築		

施策成果指標	健康に生活している高齢者の割合（60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合）
---------------	---

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	行政が持つ保健・福祉・医療等のデータ
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	データが見える化し、地域課題、事業課題を分析、評価することにより、エビデンスに基づいた実効性のある施策の立案実施を可能とするとともに、関係者間での情報共有を図る。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	保健、福祉、医療等の情報を一元的に集約、管理する「地域包括ケア情報プラットフォーム」を構築する。 <ul style="list-style-type: none"> ・将来推計機能の構築 ・データ分析システム「ケアビジョン」の庁内試験提供 ・在宅連携支援システム「ケアノート」の実証事業 ・情報提供システム「ケアインフォ」の試験公開

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	50,994		
歳入	特定財源	11,340	
	一般財源	39,654	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	89,424	61,025	
歳入	特定財源	67,068	11,985
	一般財源	22,356	49,040

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																			
	保健、福祉、医療等の情報を一元的に集約、管理する「地域包括ケア情報プラットフォーム」を構築し、データが見える化する。	見える化されたデータを活用して <ul style="list-style-type: none"> ・他地域との比較による地域課題の抽出 ・事業や施策の課題の抽出 ができるようになる。	抽出された地域課題や事業課題を分析、評価することにより、エビデンスに基づいた実効性のある施策の立案実施が可能となるとともに、関係者間での情報共有が図られる。	在宅の要介護高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を安心して送ることができるため効果的、効率的に支援できる社会の実現																																																																																			
	活動の指標	成果の指標(KPI)																																																																																					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">データ分析の結果を活用した事業の企画・立案数</td> <td>目標</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td>H37年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各専門職による情報共有ツールへの参加者数(高齢者本人)</td> <td>目標</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td>H37年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>40</td> <td>500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>40.0%</td> <td></td> <td>60,000</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	データ分析の結果を活用した事業の企画・立案数	目標		-		H37年度	実績			-		達成率				20	各専門職による情報共有ツールへの参加者数(高齢者本人)	目標		100		H37年度	実績		40	500		達成率		40.0%		60,000	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">健康に生活している高齢者の割合</td> <td>目標</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>46.5%</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最期まで自宅で暮らせる高齢者の割合</td> <td>目標</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>10.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.7</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	健康に生活している高齢者の割合	目標		-		H34年度	実績		46.5%	-		達成率		-		50.0	最期まで自宅で暮らせる高齢者の割合	目標		-		H32年度	実績	10.0	-	-		達成率				11.7	
指標の内容	年度			実績		目標																																																																																	
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																		
データ分析の結果を活用した事業の企画・立案数	目標		-		H37年度																																																																																		
	実績			-																																																																																			
	達成率				20																																																																																		
各専門職による情報共有ツールへの参加者数(高齢者本人)	目標		100		H37年度																																																																																		
	実績		40	500																																																																																			
	達成率		40.0%		60,000																																																																																		
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																			
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																		
健康に生活している高齢者の割合	目標		-		H34年度																																																																																		
	実績		46.5%	-																																																																																			
	達成率		-		50.0																																																																																		
最期まで自宅で暮らせる高齢者の割合	目標		-		H32年度																																																																																		
	実績	10.0	-	-																																																																																			
	達成率				11.7																																																																																		

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	地域包括ケアシステム推進事業、地域ケア会議、地域ネットワーク支援事業、高齢者地域支援事業		
所管課	保健福祉局高齢社会部地域包括ケア推進課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		平成23年6月改正の介護保険法に地域包括ケアの理念が規定されたことを受け、第5期介護保険事業計画(H24～26年度)に地域包括ケアシステムの構築を位置付け、取組みを開始。
根拠法令	介護保険法第5条3項、第115条48項		
行政計画	保健福祉総合計画、第6期介護保険事業計画		

基本計画			
施策コード	主	1-6-1	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実		
事業群	地域における総合的な福祉サービスの構築		

施策成果指標	福祉の充実に対する満足度(H28年度50%, H34年度65%)
--------	----------------------------------

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	・市民 ・保健福祉等の関係機関・団体、事業所、専門職(以下「関係機関等」)
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	・市民が住み慣れた地域で、必要に応じて公的サービスを利用し、また、地域で支え合いながら、安心して暮らしている。 ・関係機関等が十分に連携して市民の自立生活に資する事業活動を行いつつ、地域とともに支え合いなどの公益活動に取り組んでいる。

実施内容(手段)	○市民・専門職を対象に、下記を実施 ・地域ケア会議の周知啓発(個別啓発・地域に情報提供等) ・市民・専門職向けの地域包括ケア講座の実施
	○関係機関等と連携し、下記を実施 ・医療介護連携の重層的なネットワークづくり ・地域ケア会議5階層で高齢者支援、課題把握、取組検討 ・市地域ケア会議で関係機関等の進捗管理、連携推進 ・市民・専門職向けの地域包括ケア講座等の開発及び実施

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		56,623	
歳入	特定財源	34,230	
	一般財源	22,393	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計		43,358	57,530
歳入	特定財源	25,963	37,509
	一般財源	16,375	20,021

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議を市民に周知啓発 地域ケア会議を重層的に実施 地域ケア会議で関係機関等の取組共有 専門職と、地域包括ケアの講座等を開発し、市民や専門職へ講座実施 関係機関等との意見交換を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議開催で高齢者支援が増える 地域ケア会議開催で課題を把握できる 市民や関係機関等が、予防・地域活動等の重要性に気づく 講座開発や講師経験等を通して、関係機関等と市民の間の連携が進む 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関等で、公助・共助の充実等への検討が進む 関係機関等の地域での公益活動参加が増える 地域主体の支え合いが増える 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢になっても安心して地域で暮らすことができ、福祉の充実に対する満足度が向上する 	
活動の指標	指標の内容	実績		目標	
	地域ケア会議(5階層)の開催回数	年度 目標	H27年度 422	H28年度 761	H29年度 789
自立生活の啓発活動、専門職の理念共有の講座の実施回数(モデル実施)	実績	389	676		
	達成率	92.2%	88.8%		
目標	2	14			H年度
実績	3	16	25		
達成率	150.0%	114.3%			

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標	
	高齢者地域支援会議実施校区	年度 目標	H27年度 61	H28年度 116	H29年度 149
地域ケアアクションプラン参加団体数	実績	83	113		
	達成率	136.1%	97.4%		
目標	15	16			H年度
実績	15	15	16		
達成率	100.0%	93.8%			

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	いきいきセンターふくおか運営等経費	
所管課	保健福祉局 高齢社会部 地域包括ケア推進課	背景
開始年度	平成18年度	
根拠法令	介護保険法第115条の46	
行政計画	福岡市介護保険事業計画	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
介護保険法の改正(平成18年度)により、市町村は地域支援事業を行うことになり、実施にあたっては地域包括支援センターを設置できるとされたため。		

基本計画			
施策コード	主	1-6-1	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実		
事業群	地域における総合的な福祉サービスの構築		
施策成果指標			
○福祉の充実に対する満足度(平成34年度目標値:65%)			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	高齢者およびその家族ならびに介護、保健、福祉、医療等の関係者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる状態。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○市内57か所にセンターを設置し、運営を9法人に委託。
	○職員は高齢者人口に応じて3~5人配置。(計189人、H28.4.1時点)
	○業務内容
	・総合相談支援業務:高齢者からの相談を受け、その方に適したアドバイス等を実施。
	・介護予防ケアマネジメント業務:要介護状態となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められる65歳以上の者が、要介護状態になることを予防するため、その心身の状況に応じて、介護予防教室などの介護予防事業が利用できるよう支援を実施。
・権利擁護業務:高齢者の権利や財産を守るため、虐待や消費者被害等に対する支援を実施。	
・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務:介護支援専門員や医療機関と連携して、高齢者の支援を実施。	

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	1,247,737
歳入	特定財源	1,005,166
	一般財源	242,571
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	1,218,156 1,275,572
歳入	特定財源	939,808 1,027,985
	一般財源	236,869 247,587

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	地域包括支援センターにおいて、高齢者に関する相談を受ける。	訪問などを通じ、高齢者のニーズを把握し、関係機関と連携した支援を行う。	地域の高齢者について、日常生活機能の低下が軽度な段階での早期発見・早期対応が可能になり、また権利や財産が守られることで地域で安心して暮らし続けることができるようになる。	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができ、福祉の充実に対する満足度が向上する。		
	活動の指標	実績		目標		
	地域包括支援センターへの相談件数(人)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	29,500	30,000	31,500	H年度
		実績	22,565	24,007		H年度
		達成率	76.5%	80.0%	H年度	
	目標				H年度	
	実績				H年度	
	達成率				H年度	
成果の指標(KPI)	実績		目標			
福祉の充実に対する満足度(%)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	
	目標	-	50.0	52.5	H年度	
	実績	43.4	46.3		H年度	
	達成率		92.6%	H年度		
目標				H年度		
実績				H年度		
達成率				H年度		

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	在宅医療・介護連携推進事業	
所管課	保健福祉局健康医療部 地域医療課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 介護保険法改正に伴い、在宅医療・介護連携推進事業が地域支援事業に位置付けられ、市町村が主体となり、医師会等と連携して取り組むこととされた。
開始年度	平成27年度	
根拠法令	介護保険法、医療介護総合確保促進法	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	1-6-2	○福祉の充実に対する満足度(H28年度:50%, H34年度:65%)	
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実			
事業群	高齢者の健康と福祉の向上		施策成果指標	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	①市民 ②医療・介護従事者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	①医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられる。 ②在宅療養患者に対し、在宅医療と介護を切れ目なく提供できる。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	①検討会議の開催 市医師会と福岡市で構成する「在宅医療協議会」やそのワーキンググループを開催し、在宅医療推進のための取組について検討。
	②在宅医療推進のための取組方針の策定 各区医師会が在宅医療推進の拠点となる病院をいくつか選定し、それらの病院を中心として実施する下記取組について、取組方針としてとりまとめた。 ・在宅医療に携わる医師を増やすための医師間の関係づくりと動機づけ(交流会、情報交換会等) ・病院によるバックアップ体制づくり ・代診医制度
	③医療と介護の連携体制づくり ・社会資源情報ブックの情報更新 ・多職種連携システム「ケアノート」の開発とモデル実施(高齢社会政策課) ・在宅医療相談窓口の開設(市医師会で実施) ・多職種連携研修会(市医師会に委託して実施)
	④在宅医療に関する市民啓発(市医師会に委託して実施)

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計			
歳入	特定財源		
	一般財源	0	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計		5,052	41,052
歳入	特定財源	4,066	33,049
	一般財源	986	8,003

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																									
	・在宅療養患者に在宅医療と介護を切れ目なく提供するための施策を検討し実施する。	(市民) ・啓発事業に参加する。 ・パンフレットを読む。 (医療・介護従事者) ・病院を中心とした交流会・情報交換会等に参加する。 ・社会資源情報ブックやケアノート、相談窓口を活用する。 ・研修会に参加する。	(市民) ・在宅医療への理解が深まり、在宅医療を受ける人が増える。 (医療・介護従事者) ・在宅医療に携わる医師が増える。 ・医療・介護従事者の連携が進む。	(市民) ・医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができる。 (医療・介護従事者) ・在宅療養患者に対し、適切な在宅医療と介護を切れ目なく提供することができる。																																																																									
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市民啓発の実施回数</td> <td>目標</td> <td>—</td> <td>8</td> <td rowspan="3">8</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>112.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">多職種連携研修会の実施回数</td> <td>目標</td> <td>—</td> <td>20</td> <td rowspan="3">20</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>16</td> <td>23</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>115.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	市民啓発の実施回数	目標	—	8	8	H32年度	実績	2	9	8	達成率		112.5%		多職種連携研修会の実施回数	目標	—	20	20	H32年度	実績	16	23	28	達成率		115.0%		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">在宅療養支援診療所の数</td> <td>目標</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="3">検討中</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>230</td> <td>243</td> <td>検討中</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最期まで自宅で暮らせる高齢者数の割合</td> <td>目標</td> <td>—</td> <td>11.7</td> <td rowspan="3">11.7</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>9.0</td> <td>11.7</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>0.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	在宅療養支援診療所の数	目標	—	—	検討中	H年度	実績	230	243	検討中	達成率				最期まで自宅で暮らせる高齢者数の割合	目標	—	11.7	11.7	H32年度	実績	9.0	11.7	11.7	達成率		0.0%
指標の内容	年度			実績		目標																																																																							
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																								
市民啓発の実施回数	目標	—	8	8	H32年度																																																																								
	実績	2	9		8																																																																								
	達成率		112.5%																																																																										
多職種連携研修会の実施回数	目標	—	20	20	H32年度																																																																								
	実績	16	23		28																																																																								
	達成率		115.0%																																																																										
指標の内容	年度	実績		目標																																																																									
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																								
在宅療養支援診療所の数	目標	—	—	検討中	H年度																																																																								
	実績	230	243		検討中																																																																								
	達成率																																																																												
最期まで自宅で暮らせる高齢者数の割合	目標	—	11.7	11.7	H32年度																																																																								
	実績	9.0	11.7		11.7																																																																								
	達成率		0.0%																																																																										

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	障がい者虐待防止・基幹相談支援センター事業	
所管課	障がい者在宅支援課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か ・平成22年度の障害者自立支援法の一部改正によって基幹相談支援センターの設置が定められた。 ・平成24年10月に障害者虐待防止法が施行された。
開始年度	平成25年度	
根拠法令	障害者総合支援法77条の2(市町村地域生活支援事業)	
行政計画	障がい福祉計画	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	1-6-3	福祉の充実に対する満足度(H28:50%) 障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じている市民の割合(H28:45%)	
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実			
事業群	障がい者の自立と社会参加の支援			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	・障がい者及びその家族 ・障がい者相談支援センター
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	・障がい者に対する虐待が防止された状態 ・障がい者相談支援センターの人材育成、業務の円滑化

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	障がい者虐待防止・基幹相談支援センター事業は、障がい者の虐待防止支援及び地域生活に関する相談支援の中核的機能を一体的に併せ持つセンターを設置し障がい者の相談体制を充実するもの。
	具体的な事業内容 ①総合的・専門的な相談支援の実施 ②地域の相談支援体制の強化の取り組み ③権利擁護・虐待の防止 ④障がい者虐待の広報、啓発 など

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計	55,732	
歳入	特定財源	41,797
	一般財源	13,935
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
歳出合計	50,502	93,575
歳入	特定財源	23,516 70,279
	一般財源	26,986 23,296

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	基幹相談支援センターを設置し、事業委託を行う。	基幹センターが障がい者虐待防止センターとして機能する。また、市内の相談支援体制の中核的役割を果たす。	障がい者虐待の早期発見・解決してもらえる。相談支援センター等の人材育成が図られる。	障がい者虐待防止体制が整備される。市内の相談支援体制が充実する。		
	指標の内容	実績		目標		
	活動の指標	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	1	1		H 年度
実績		1	1	1		
達成率		100%	100%			
	目標				H 年度	
	実績					
	達成率					

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標		
	支援(人材育成)件数	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	15	15		H 年度
		実績	15	15	14	
		達成率	100%	100%		
虐待対応(事実確認)件数	目標	30	30		H 年度	
	実績	46	35	30		
	達成率	153.3%	116.7%			

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	障がい者グループホーム設置促進等事業	
所管課	保健福祉局 障がい者施設支援課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 施設に入所または病院に入院している障がいの地域生活への移行を促進させるため
開始年度	平成15年度	
根拠法令	福岡市障がい者グループホーム設置費補助金交付要綱等	
行政計画		

基本計画			
施策コード	主	1-6-3	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実		
事業群	障がい者の自立と社会参加の支援		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 障がい者グループホームの開設を希望する社会福祉法人等
	対象をどのような状態にしたいのか 障がい者グループホームの開設に必要な情報が常時入手可能であり、希望する不動産物件がすみやかに見つかるとともに、必要に応じて、建築基準法上の用途変更について要件緩和の恩恵を受ける、補助申請により開設経費の負担が軽減される等、希望すればスムーズに障がい者グループホームが開設できる状態。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○「福岡市障がい者グループホーム開設応援サイト」の設置 ・同サイトを市HP上に新たに設置し、開設に役立つ法人向け情報の提供を開始。 ○「不動産協力店」登録制度の創設及び開設希望法人とのマッチングの仕組みの創出 ・福岡県宅地建物取引業協会等に協力を依頼し、不動産物件の紹介や物件オーナーへの説明等に協力可能な宅地建物取引業者を「不動産協力店」として登録する制度を創設。また、開設希望法人が求める物件情報等とのマッチングの仕組みを創出。 ○障がい者グループホーム向けの建築基準法上の新たな取扱いの開始 ・住宅都市局と協議し、市内にある既存の共同住宅をグループホームとして利用する場合、一定の要件を満たせば、これまで必要となっていた建築基準法上の用途変更を行わずに開設できる新たな取扱いを開始。 ○設置費補助(市単費)の上限額の見直し及び補助金の交付 ・消防法改正に伴う消防用設備設置義務化のため補助上限額を増額し、開設法人に交付。 ○社会福祉施設等整備費補助(国2/3、市1/3)の施設選定及び補助金の交付 ○市営住宅を活用したグループホームの開設支援 ・住宅都市局と連携し、市営住宅を活用したグループホームの開設を支援。
----------	---

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計	47,284	
歳入	特定財源	23,123
	一般財源	24,161
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H27	H29
歳出合計	8,930	64,925
歳入	特定財源	0
	一般財源	37,967

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・「福岡市障がい者グループホーム開設応援サイト」において開設に必要な情報を提供する。 ・福岡県宅地建物取引業協会等に「不動産協力店」登録制度について協議(協力依頼)を行う。 ・「不動産協力店」と開設希望法人とのマッチングの仕組みを構築する。 ・建築基準法上の新たな取扱いについて住宅都市局と協議を行う。 ・補助制度を周知する。 ・市住活用について住宅都市局と連携を図る。	②結果アウトカム (活動の結果、どうなるのか) ・開設希望法人により、「グループホーム開設応援サイト」から開設に必要な情報が入手される。 ・申請された宅地建物取引業者が「不動産協力店」として登録され、開設希望法人が求める不動産物件の情報とともに上記サイト上に公開される。 ・グループホーム向けの建築基準法上の新たな取扱いが定められ、要件が一部緩和される。 ・補助金の交付申請が行われる。 ・市営住宅内にグループホームが開設される。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・「開設応援サイト」の利用により、開設に必要な情報がいつでも入手可能となり、また、希望する不動産物件が見つかりやすくなる。 ・一定の要件を満たせば、これまで必要となっていた建築基準法上の用途変更の手続きが不要となる。 ・開設に必要な経費の負担が軽減される。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・市内における障がい者グループホームの開設が進み、設置数(定員数)及び利用者数が増加する。 ・施設に入所または病院に入院している障がい者の地域生活への移行が促進される。		
	活動の指標	指標の内容 市営住宅を活用したグループホームの利用定員(単位:人)	実績 H27年度 36 H28年度 36 H29年度 40 最終年度 H年度	目標 H27年度 36 H28年度 36 H29年度 40 最終年度 H年度	実績 H27年度 840 H28年度 940 H29年度 1,040 最終年度 H年度	
	指標の内容	年度 目標 実績 達成率	H27年度 36 28 77.8%	H28年度 36 36 100%	H27年度 840 744 88.6%	H28年度 940 800 85.1%
	共同生活援助(グループホーム)の利用量(単位:人/月)	年度 目標 実績 達成率	H27年度 840 744 88.6%	H28年度 940 800 85.1%	H29年度 1,040	最終年度 H年度
	成果の指標(KPI)					

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	生活困窮者自立支援事業		
所管課	保健福祉局総務部生活自立支援課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成27年度(従来からの実施分含む)		平成27年4月に生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴い、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため。
根拠法令	生活困窮者自立支援法		
行政計画			

基本計画			
施策コード	主	1-6-4	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実		
事業群	生活の安定の確保など		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	生活困窮者
	対象をどのような状態にしたいのか	困窮状態からの脱却・自立

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<p>①自立相談支援事業 市内1箇所相談窓口(生活自立支援センター)を設置し、生活困窮者の相談に応じ就労その他の自立に関する相談支援を実施。</p> <p>②住居確保給付金の支給 離職等により住居を失った又はそのおそれがある者に対し家賃相当分の給付金を支給。</p> <p>③一時生活支援事業(ホームレス自立支援事業) 住居のない生活困窮者に対して一定期間宿泊場所や衣食を提供。</p> <p>④子どもの学習支援事業 生活保護世帯及び生活困窮世帯の子どもに対する学習支援や保護者への養育支援を実施。</p>
-----------------	--	---

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	395,013
歳入	特定財源	293,258
	一般財源	101,755
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	378,060 423,229
歳入	特定財源	310,468 289,266
	一般財源	67,592 133,963

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者の相談対応課題を整理し、支援プランを作成 ・課題解決へ向けた支援就労支援その他既存支援の活用 ・住所不定者への衣食住の提供 ・子どもへの学習支援等 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者の相談支援体制の充実 ・就労支援による就労・増収 ・衣食住提供による生活の一時的安定 ・学習支援等による子どもの就学・進学に関する課題解決 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労・増収による困窮状態からの脱却 ・子どもの進学率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護費の削減 			
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		
		新規相談受付件数	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
			目標		1,800		H30年度
実績				1,897	2,100	2,400	
達成率			105.4%				
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標			
	就労・増収者数	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	
		目標		372		H30年度	
		実績		207	434	496	
達成率			55.6%				

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	ICTを活用した高齢者の見守りの調査検討		
所管課	保健福祉局 高齢社会部 高齢社会政策課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成27年度		高齢者施策の核として地域包括ケアシステムの構築を進めていく上では、要介護高齢者の平常時及び緊急時の在宅生活をどれだけサポートできるかがカギであり、ICTの活用により、効率的かつ効果的な見守りサービスを市内全域に提供できる仕組みを構築し、地域の見守り活動関係者の負担軽減を図る必要があるため。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画				
施策コード	主	2-3-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている			
施策	支え合いや助け合いによる地域福祉の推進			
事業群	見守り・支え合いの仕組みづくり			地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	福岡市内の高齢者
	対象をどのような状態にしたいのか	高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して、いきいきと暮らし続けることができる。
事業目的		

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	(1)ICTを活用した高齢者見守りモデル事業 ①実施地区：城南区別府校区 ②参加者 ・見守られる人：ふれあいネットワークによる見守りを受けている高齢者 ・見守る人：ふれあいネットワーク ③事業内容 ・見守られる人からのモバイル端末による安否情報・緊急情報の発信 ・見守る人の携帯電話による見守り情報の共有 ※本事業は、27nは総務省からの受託事業としてNTT東日本が実施(福岡市の経費負担はなし)し、28nは福岡市の委託事業として継続実施したもの。

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	5,000
歳入	特定財源	2,500
	一般財源	2,500
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	1,605 1,562
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	1,605 1,562

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ○モデル事業実施地区の選定や実施方法などについて地域と十分に協議を行ったうえで、モデル事業を実施する。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ○要介護高齢者の平常時及び緊急時の在宅生活を、効率的かつ効果的にサポートできる仕組みが構築される。 ○地域の見守り活動関係者の負担が軽減される。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ○モデル事業参加者の満足度が向上する。 ○高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ○高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合が向上する。
	→	→	→	→
	→	→	→	→

活動の指標	指標の内容	実績				目標	
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	H30年度以降
活動の指標	モデル事業の実施	目標	実施	実施	実施	H30年度以降	
		実績	実施	実施			
		達成率					
		目標				H年度	
	実績						
	達成率						

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績				目標	
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	H34年度
成果の指標(KPI)	モデル事業参加者の満足度	目標	70.0%	70.0%	80%	H年度	
		実績	65.2%	58.5%			
		達成率	93.1%	83.6%			
		目標				H34年度	
	実績			44.1%	-		
	達成率				65%		

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	見守り推進プロジェクト	
所管課	福祉・介護予防課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 孤立死対策の一つとして、地域での見守りを推進してきたが、地域では対応が困難なケースもあり、行政として積極的に関わる必要があった。また、国からも高齢者等を訪問するライフライン事業者等との連携強化について通知があった。
開始年度	平成25年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	2-3-1	地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合	
	再			
分野別目標	さまざまな支え合いとつながりができている			
施策	支え合いや助け合いによる地域福祉の推進			
事業群	見守り・支え合いの仕組みづくり		施策成果指標	

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 高齢者、障がい者、孤立死のおそれがある方。それらの方を見守る企業、地域住民。
	対象をどのような状態にしたいのか 孤立死の予防・啓発、孤立死の早期発見見守りの担い手の増 地域での見守り活動者が緊急時に対応困難になった場合の支援
事業目的	

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 平成25年8月12日より新規事業として4つの事業を開始。 ①福岡見守るっ隊の結成(孤立死の疑われる異変時に企業から通報していただく協定を締結) ②福岡市見守りダイヤル(孤立死の疑われる異変時に企業や地域住民から通報を24時間365日受け付け、安否確認を行う) ③出張講座(孤立死防止のための講座等を行う講師を無料で派遣) ④見守りサービス登録事業(民間の見守りサービスの情報をHP上で提供)
	②③の事業については委託し実施

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	19,545		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	19,545	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	19,814	19,170	
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	19,814	19,170

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	・訪問する企業等に住民の異変を通報してもらうよう協力依頼を行う。(福岡見守るっ隊) ・通報があった場合、速やかに対応できるダイヤルを設置する ・出張講座や見守りサービス登録を実施	・通報する企業が増え、見守りの担い手が増加 ・現地での速やかな対応 ・住民の孤立死、孤立への意識啓発 ・自助として見守りサービスの利用の支援	孤立死(疑い)への早期対応。孤立死や孤立防止の啓発や「自助」による予防	孤立死の減少など、高齢者や障がい者など支援が必要な方々が、安心して地域で生活できるようになる。	
	指標の内容	実績	目標	実績	目標
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
活動の指標	相談件数	158	145	180	H 年度
		達成率			H 年度
	通報件数	170	170		180
	実績	167	139	180	H 年度
	達成率	98.2%	81.8%	100%	H 年度

成果の指標(KPI)	指標の内容	実績	目標		
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
	救命件数	12	12	15	H 年度
		実績	18		14
	達成率	150.0%	116.7%		H 年度
	地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合	45.4	50.0	50.0	H 年度
		実績	0.0%	0.0%	H 年度
		達成率	0.0%	0.0%	H 年度

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	超高齢社会対応検討経費(一部・国際展開)	
所管課	保健福祉局 高齢社会部 高齢社会政策課	背景
開始年度	平成24年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
超高齢社会の到来に向け日本が先行している分野での海外貢献や、海外展開を検討する企業支援等を通じて福岡市の拠点性を高める必要があるため。		

基本計画			
施策コード	主	8-6-2	
	再		
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
施策	アジアの諸都市などへの国際貢献・国際協力の推進		
事業群	海外諸都市・国際機関等との連携・交流強化		
実施成果指標			
視察・研修受入れ人数(H28 970人)			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	高齢化の問題に関心のある国内外の市民・研究者・事業者等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	・アジアから超高齢社会に関する福岡市の取り組みを学びに来る人が増加する。 ・国内の介護事業者が海外進出する。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○6/4に開催された第1回WWAS国際会議「活躍する女性と高齢化する社会」の開催を後援し、「超高齢社会 福岡のシナリオ」として、荒瀬副市長が登壇。

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		500	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	500	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計		0	2,000
	特定財源	0	750
歳入	一般財源	0	1,250

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																			
	○ビジネスワークショップを開催する。 ○高齢化に各種の国際会議等に参加し、福岡市の施策を紹介する。	○福岡市の施策に関心を持つアジアの人々が増える。	○福岡市の先進的取り組みを自国の政策に取り入れようとするアジアの人々が増える。	○海外からの視察研修件数が増加する。 ○海外からの講演依頼が増加する。 ○福岡市が高齢化対応のアジアのモデル都市として評価される。																																																																																			
	活動の指標	成果の指標(KPI)																																																																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ビジネスワークショップ等の開催回数</td> <td>目標</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">国際会議等への参加による本市施策PR</td> <td>目標</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	ビジネスワークショップ等の開催回数	目標	1	1		H34年度	実績	1	0	1	1	達成率	100%	0%			国際会議等への参加による本市施策PR	目標	1	1		H34年度	実績	1	1	1	1	達成率	100%	100%			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">海外からの視察・研修件数</td> <td>目標</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>200%</td> <td>200%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海外からの依頼による出張講演件数</td> <td>目標</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	海外からの視察・研修件数	目標	1	1		H34年度	実績	2	2	2	5	達成率	200%	200%			海外からの依頼による出張講演件数	目標		0		H34年度	実績		1	1	2	達成率					
指標の内容	年度			実績		目標																																																																																	
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																		
ビジネスワークショップ等の開催回数	目標	1	1		H34年度																																																																																		
	実績	1	0	1	1																																																																																		
	達成率	100%	0%																																																																																				
国際会議等への参加による本市施策PR	目標	1	1		H34年度																																																																																		
	実績	1	1	1	1																																																																																		
	達成率	100%	100%																																																																																				
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																			
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																		
海外からの視察・研修件数	目標	1	1		H34年度																																																																																		
	実績	2	2	2	5																																																																																		
	達成率	200%	200%																																																																																				
海外からの依頼による出張講演件数	目標		0		H34年度																																																																																		
	実績		1	1	2																																																																																		
	達成率																																																																																						